

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 理学療法学専攻

名 前 藤本鎮也

作成日 2023年9月20日

### 1. 責務 (何を行っているか、何を果たしているか)

主な担当科目 1 理学療法学専攻 1年必修科目

・表面解剖と触診法 ・運動学 ・理学療法総合演習 I ・理学療法総合演習 II

主な担当科目 2 理学療法学専攻 2・3年必修科目

・運動学実習 (2年) ・日常生活活動学 (2年) ・循環器系理学療法学 (3年)

主な担当科目 3 実習科目 理学療法学専攻 3・4年必修

・理学療法評価学臨床実習 (3年) ・総合臨床実習 I (4年) ・総合臨床実習 II (4年)

委員会活動

・地域・産学連携センター (副委員長) ・就職対策ワーキンググループ (委員)

その他の活動

・バスケットボールサークル顧問 ・専攻内 1 学年担任

担当科目を中心に学生の人間理解を支援し、加えて委員会活動やその他の活動を通じて学生に自立と共生の心を培い、創造性豊かな活力あふれる人材として育成する責務を負っている。

### 2. 理念 (教育に対する考え方)

本学で過ごす4年間の大学生活では、知識と技術を学ぶ機会と同じ志を持つ多くの仲間との出会いがあります。このチャンスを生かして理学療法士としての確かな知識と技術を身に付け、素晴らしい人間関係を築くためには主体性と社会性、そして人間性が重要であると考えています。全ての学年で科目を担当し、現在も理学療法士として実務に携わっている私は、学生がこれらの能力を成長させられるよう、学生に実務経験に基づく専門的知識と技術の提供に加え、スタディスキルとステューデントスキル、コミュニケーションスキルの涵養を目的とした関わりを重視しています。

### 3. 方法 (教育方法において大切にしていること)

全ての担当科目において、講義中に学修内容について学生同士で話し合い確認する時間を作り、理学療法総合演習 I・II や各学年の実習科目ではシンク・ペア・シェアの手法を用いてコミュニケーションスキルを育てている。また、1年次担当科目の「表面解剖と触診法」では隔週で学生ひとりずつ実技確認テストを実施し、結果に応じたフィードバックを行うことで学生の学修習慣の獲得とスケジュール管理能力の向上を図り、「運動学」においてはできるだけ板書を用いて講義速度を調節することによりノートテイキングスキルの涵養を図っている。また、1学年担任として、学修内容に関する質問には学生が理解できるまで学生目線で説明し、更に学生に復習用の動画資料を共有し学修意欲の向上と維持に資するよう心がけている。

地域産学連携センター委員としては、地域住民との交流イベントの企画や地域ボランティアの積極的募集、引率を通じて、学生に地域社会との交流機会を提供し、サークル顧問としては学生の主体的活動を支援することで学生の能力向上を支援している。

### 4. 成果 (学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について)

学生さんからの授業アンケートでは、「教員は理解させようとする意欲・熱意を持って授業に取り組んでいましたか?」と「教員は理解させようとする創意工夫が見られましたか?」という項目において非常に高い評価を得ています。また、アンケートの自由記述では「何度でも繰り返し熱心に教えてくれる」、「学びやすい環境を作ってくれる」、「分かりやすい」、「学修習慣がついた」という意見をいただいております。この傾向は1年次の担当科目で顕著であり、私自身は学生さんの学修意欲の持続と向上の支援を特に意識しているため、非常にうれしく思います。その一方で「予習・復習の課題が多い」という主旨の意見や課題に向き合えない学生さんも散見され、今後は学生さんの自己学習時間を確認して課題量や提示方法などを見直し、高い学修意欲を持続してもらえるように工夫したいと考えています。

#### 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

理学療法学専攻の専任教員として、理学療法士を志して入学した学生が国家資格を取得して卒業できるよう支援したいと考えている。また、多様な学生が入学する現在においては、個々の学生に合わせた初年次教育と学生の学修意欲向上を目的とした関わりが重要であり、形成的評価に基づく学生指導と実務経験に基づく事例紹介などの工夫を継続し、進路変更を希望する学生の減少に努めたいと考えている。中期目標としては、1学年の年間の進路変更学生を入学生の1割以下とし、4年で卒業する学生数を8割以上としたいと考えている。そのための短期目標として、次年度の講義アンケートの授業の方法、授業運営について総平均が4.0以上を目標としたいと考えています。

\* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

#### 【添付資料】

\* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。  
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。)